

新支部長紹介

熊本支部長 鳥飼香代子さん
(生昭46)



熊本県に引っ越して41年。学生時代の旅行で阿蘇と天草に来たという以外、縁も所縁もない

県でしたが、果物が安くて美味しいのに感動して赴任1か月で永住決意。ただ、大阪市大は、あまり知られてなかったのと同窓生はほとんどいないと諦めていました。また、遠いので、学生時代の友人とも会う機会がなく、過ごしてきました。ですから、同窓会支部設立の話は、本当にうれしかったです。この「やっとながつた」感を大切に、今後は暮らしていきたいと考えています。

湘南支部長 植嶋平治さん
(商昭51)



私は昭和51年に商学部を卒業し、商工中金に定年まで勤務した後、現在は、地元鎌倉にて経営コンサルタントを開業しております。

商工中金ではニューヨーク支店長時代に同時多発テロ(9.11)に遭遇し、その経験が少なからず人生に影響を与えています。クラブは弓道部、学部では川合ゼミで主に金融を勉強させていただき、そのご縁で当時院生で教授になられた佐賀先生とは今でも勉強会を続けています。これから湘南らしい取り組みをしてまいりたいと思いますので皆様のご参加お待ちしております。

新評議員紹介

安藤根八さん
(創院平30修)



2019年6月、創造都市研究科同窓会が有恒会に合流し、創造都市研究科OB・OGは有恒会会員となり、2018年に開設された都市経営研究科も修了生は有恒会ならびに創都会に加入します。私は現在、創造都市研究科博士課程国際地域経済研究領域に在籍しておりますが、都市経営研究科修士課程修了生、博士課程現役生および修了生との絆をさらに構築して、有恒会並びに創都会活動に貢献させていただければと願っております。宜しくお願いします。

第18回ホームカミングデー (11月3日<日・祝>)に是非ご参加を

今年のホームカミングデーは「創立140周年記念事業」のイベントとして開催します。恒例の記念講演会は「新大学の実現・市大の飛躍」をテーマに西澤良記理事長を講師にお迎えするとともに、学長ウェルカムパーティーは、満天の星のもと1号館前の芝生広場を会場に予定しています。さらに、同窓会、クラブ主催事業やキャンパスツアー、五代イベントなど様々なイベントを予定していますので、皆さまのご参加をお待ちしています。※詳しくはホームページ、パンフレット等をご覧ください。

有恒会130周年 記念誌発行プロジェクト発足

来年、有恒会130周年を迎えるに当たって、5月に記念誌発行PJを発足しています。現在投稿原稿を募集していますので、大学時代の思い出や同窓会・友人との関わりなどテーマは自由です。思い出の写真等もお送りください(400字程度)。年内は受け付けています。投稿先メールアドレスは kaiho-b@ado.osaka-cu.ac.jp

又、広告掲載や名刺広告も年内は受け付けていますので、同上メールアドレスに問い合わせ願います。(編集部)

投稿のご案内

皆様方の近況・ご意見を「読者の声」欄に掲載しますので奮ってご投稿ください。(200字程度) 投稿先: kaiho-b@ado.osaka-cu.ac.jp

同窓会・有恒会スケジュール

11/3 (日)	ホームカミングデー・全学同窓会総会 (杉本キャンパス)
11/16(土)	秋のワンデイトリップ(8:30～ 近江路)
11/30(土)	民間企業勤務OBOGとの学生交流会 (高原記念館)
12/8 (日)	第1回シスターフッドプログラム
12/9 (月)	開高健悠々忌(終了後茶話会)
12/14(土)	開高健悠々会講演会・総会(文交センター)
12/15(日)	第2回シスターフッドプログラム
2020年 5/9 (土)	大阪市立大学創立140周年記念式典 (ホテルニューオータニ大阪)
5/23 (土)	有恒会創立130周年記念総会(田中記念館)

編集後記

有恒会総会にて7支部に有恒会アワード:優秀賞・特別賞が手渡されました。このアワードは今年も来年も続きますので多くの申請を待っています。また、来年は有恒会130周年、大学140周年に向けて、各記念行事・イベントが企画、実施されます。大学統合検討も加速化されつつあり目が離せない状況ですが、新支部特に九州・関東圏での発足が相次ぎますので、同窓生の活発な参加を期待しています。(編集人)



有恒会 ニュースレター

No.3 October 2019



2019 有恒会アワード受賞風景
写真左から、岡本会長、滋野(愛知)、深尾(東京)、金村(大阪南)、一柳(奈良)、梅村(神戸)、原木(宝塚)、吉備(姫路しらさぎ)支部長・支部長代理 ※敬称略

大阪市立大学創立140周年 有恒会創立130周年記念事業について

大阪市立大学は2020年に創立140周年を迎えることは皆さまご存知のことと思います。2020年5月9日(土)に創立140周年記念式典をホテルニューオータニ大阪にて開催します。さらに教育・研究環境の整備や内外への魅力発信などハード・ソフト両面にわたる様々な記念事業を展開します。

また、有恒会も2020年に創立130周年を迎えます。記念総会を2020年5月23日(土)に田中記念館にて開催します。記念事業を行うにあたって会員の皆さまに以下の事項を周知いただきたく願います。

1. 記念誌の発刊

「有恒会130周年記念誌」を来年4月発行の予定です。なお、名刺広告を1件1万円でご受け付けていますので、130周年記念誌向けとして、kaiho-b@ado.osaka-cu.ac.jpまでお申し込みください。

2. 2019有恒会アワードへの応募お願い

本年度は実施2年目ですが、支部代表者会議でもお伝え

しました通り、昨年受賞された支部も含め、各支部の積極的なご応募をお願いします。

3. 130周年キャッチフレーズの募集

会員の関心を高めて貰うため、有恒会にとっての130周年の意義を明確にし、内外に周知を図るため、各種印刷物等の肩書に使用するためのキャッチフレーズを募集します。ホームページ等でも告知しますが、身近な支部会員の皆さまへの声掛けをお願いします。

4. 記念事業協賛金のお願い

会員の皆さまには一口5,000円のご協賛をお願いします。会員各位へは改めてご協力のお願いをさせていただきますので、その節は何卒よろしくお願いします。

*なお、上記の応募・申込は全て今年末までをお願いします。

有恒会評議員会・定期総会開催

2019年評議員会・定期総会が6月8日、本学学術情報総合センターで開催された。

初めに昨年度の活動報告が行われた。昨年度は高齢化による自然減と若年層の会費納入率の低さから会費未納者数の減少を食い止めることができず、会費収入は減少した。来年度から始まる有恒会創立130年事業に向け、収支改善を行うことが今年度最大の責務である。また、今年度から特に素晴らしい功績を残した有恒会支部に有恒会アワードが贈られた。愛知支部が優秀賞、大阪南支部を含む6支部が特別賞を受賞した。



講演・鼎談の部では「2025大阪・関西万博を語る」をテーマに荒川学長、大阪商工会議所理事中野亮一氏(法昭60)が講演を行った。中野氏は商工会議所理事という立場から、ライフスタイルの見直しやAIの活用を行い、万博が地域経済に寄与できるように取り組みたい、また、日本や世界の持続的な発展を大阪万博が仕掛けることで、SDGs達成への貢献をしたい。

荒川学長は大阪市立大学・大阪府立大学のパビリオン構想を掲げた。火星での医食住や次世代エネルギーについて展示や発表を行い、科学技術の発展が人間らしさを失わせるものではなく、人類を豊かにするものであると伝えたいと語った。

本学商学部の松永桂子准教授を加えて行われた鼎談では、万博がわくわくする楽しい場であるとともに、新しいビジネスやアイデアが生まれるきっかけになればという期待が語られた。AIやロボットが生み出せない、笑いの文化や伝統芸能の発祥の地でもある大阪で万博を開催する意義について議論された。

その後は、同センター10階研究者交流室で懇親会が開かれた。当初は1号館前庭での開催が予定されていたが、悪天候のため変更となった。ヤシの木が伐採され生まれ変わった前庭で開催できないことは残念であった。しかし、JAZZ研究会が演奏するなか卒業生は思い出話に花を咲かせ、最後に桜花爛漫を皆で歌い、閉会した。

※SDGs:持続可能な開発目標
加藤菜々子(経4)

今回取材したのは、阪神電気鉄道(株)スポーツ・エンタテインメント事業本部運営担当(放送)で、市大OGの表原加奈子さん(商平28卒)。現在の仕事内容などについて伺った。

に球場でアナウンスをする機会があって、そこから「ウグイス嬢」という仕事が将来の仕事選択肢のひとつになりました。

——ウグイス嬢の仕事をしていて大変なことはありますか。

大学のマネージャー時代とは、かかるプレッシャーが桁違いなことですね。テレビで全国に中継されることも多いので、名前の言い間違いなどが起きてしまうと「甲子園のウグイス嬢が間違えた」と思われてしまいます。失敗がないように、入念な準備を行うようにしています。

市大OGウグイス嬢 表原さんの素顔に迫る

——ウグイス嬢はどんなことをされるのですか。

主には球場での放送です。プロ野球(1軍・2軍)や高校野球の試合、一般の方への貸し球場の時もアナウンスしたりします。実は、ビジョンの操作も行っており、具体的には選手交代・ランナー表示、演出関係の表示(動画を流すなど)を行っています。

——この仕事に就きたいと思ったきっかけは何ですか。

私自身、市大に通っている際に硬式野球部のマネージャーをしていたことが大きかったです。その時



——逆に、楽しいことはなんですか。

西宮市出身であることもあり、小さい頃から甲子園球場は身近な存在で、憧れの存在でもありました。なので、そこで働けていることが純粋に嬉しいです。

——表原さんの今の夢、目標を教えてください。

私のアナウンスを聴いて、「甲子園ってやっぱりいいな」と実感してもらえるアナウンスを目指したいです。私も昔甲子園球場に来てそう感じたので、皆さんにもそう思ってもらえるよう頑張りたいです。

——最後にメッセージをお願いします。

学生の皆さんには、自分が好きなこと、したいことを思いっきりしてほしいです。そして、ぜひ甲子園球場にもお越しください!

取材しながら感じたのは表原さんが野球を本当に好きなのだなということです。大学時代の話や現在の仕事の話素敵に笑顔でしてくださいました。

福田夏実(文2)

2022年 大学統合へ

本年4月に「公立大学法人大阪」が誕生し、2022年春の大学統合を目指し、検討作業が進んでいます。現在の案としては森ノ宮地区に1,2年生の共通教育をする都心キャンパスを2025年までに新設。文系・理系の専門教育のキャンパスは杉本町、中百舌鳥の現在の配置状況を鑑み検討中。統合後の学部生数は12,500人となり、国公立大学としては、阪大、東大、京大に次ぐ全国4位の規模となる予定。

今後の予定は構想案を取りまとめ、府・市のTOP協議会で決定し、府・市両議会を通過後、国の認可を得る必要があります。今後の動きに注目していきたい。

研究科長のご紹介

経営学研究科長
中瀬哲史(なかせ あきふみ)



この4月から経営学研究科長・商学部長を務めています。1987年に本学商学部を卒業し、1995年に

本学大学院経営学研究科を終了しました、本学出身者です。学生時代はボート部に所属し、主務を務めるほどのめり込みました。現在の私があるのは、本学商学部、経営学研究科に加えボート部での生活のおかげです。その関係でボート部、アイスホッケー部の顧問も務めています。新大学のこともあって大変ではありますが、精一杯努めたいと思います。

経済学研究科長
中嶋哲也(なかじま てつや)



新学部長になってそろそろ半年になりますが、学部運営に関して多様な意見に接する機会が増えました。

心に余力を持ち、ポイントを外さず、全体のバランスを失わず進むのはなかなか大変ですが、よい経験をさせてもらっています。幸いにして問題に合わせて相談できる人たちがいるので、大変助かります。焦らず楽しく残り1年半を乗り切り、構造が変化しているマクロ経済の研究に戻りたいと思うこの頃です。

法学研究科長
渡邊 賢(わたなべ まさる)



今年度法学研究科長・法学部長を拝命しました。専門分野は憲法で、公務員と憲法の関係や、行政手続と適

正手続の保障の問題を中心に、研究を続けてまいりました。教育面では、2006年4月に法学研究科に勤務して以降、主に法学研究科法曹養成専攻で憲法に関する講義を担当しております。大学統合や法曹養成に関する制度変更など、法学研究科を取り巻く状況が流動化する中で拝命した重責を全うできればと考えています。

文学研究科長
小林直樹(こばやし なおき)



このたび文学研究科長を拝命しました。文学部・文学研究科では、去る4月に文化構想学科を開設し、来年

度からは文化構想学専攻を発足させます。伝統的な基礎学から応用的、学祭的な学問領域に至るまで、より充実した教育・研究環境の提供によって優秀な人材の育成に努めるとともに、さらなる研究の高度化をめざしたいと考えております。今後とも、同窓生のみならず皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

都市経営・創造都市研究科長
新藤晴臣(しんどう はるおみ)



シンクタンクとベンチャー企業で約10年間勤務後、研究の道を志し、大学院に戻りました。2010年に創造都市

研究科に着任後、大学発ベンチャーとコーポレートベンチャリングとを研究する傍ら、経営者を始めとする社会人大学院生を対象とする、アントレプレナーシップ(起業)教育に携わってきました。4月から都市経営研究科と創造都市研究科の研究科長に就任し、両研究科の強みを活かし、最先端の社会人教育を提供していく所存です。